

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名 | | 公表日 令和7年3月10日 | | | | |
|------------|--------|--|-----|---------|---|-------------------------------------|
| こどもプラス鍋島教室 | | | | | | |
| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 6 | 0 | 利用定員に応じて、療育スペースでは運動遊び静養室は静かに過ごすスペースとして使い分けている。 | |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 4 | 2 | それぞれの役割をしっかりと決めて、こどもの状況に合わせて対応している。 | 送迎時に教室待機で残る職員が少ないため、待機の職員を増やす必要がある。 |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 5 | 1 | 現在バリアフリーが必要な児童はいないが、今後も安全を配慮した設備を整え、段差などなく対応できるようにしている。 | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 6 | 0 | 教室内の掃除及びアルコール消毒は毎日行い清潔に保つようになっている。 | |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 6 | 0 | クールダウンが必要な際は、静養室にて過ごせる環境になっている。 | |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。 | 6 | 0 | 定期的なミーティングを行い、職員間で情報共有や前日の振り返りなど取り組んでいる | |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 6 | 0 | HPに掲載し、保護者もいつでも見れるようにしている。保護者の集計をもとに、課題など再確認して改善に努めている。 | |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 6 | 0 | ミーティングは毎日行い、意見交換がしやすいように普段からコミュニケーションをとっている。 | |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 6 | 0 | 評価結果を集計し、事業所内でミーティングを行い、改善できるよう努力している | |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 6 | 0 | 定期的に研修が開催されている。 | |
| 適切な支援の提供 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 6 | 0 | HPで公表している。 | |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | 6 | 0 | アセスメントを年に1回記載してもらい、職員間でのモニタリングを行い、担当者会議を行い、保護者にも意見や要望を聞きとり計画を立てている。 | |
| | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 6 | 0 | 支援計画についての会議やモニタリング等、意見交換を職員間で行っている。 | |
| | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 6 | 0 | 計画書の内容は職員間でも共有し、計画に沿った支援を行っている。 | |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 6 | 0 | | |
| | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 6 | 0 | 児童の特性や困り感に視点をおき、優先順位を考えながら必要な支援項目設定し、職員全体で共有できるような具体的な支援内容を設定している。 | |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 6 | 0 | 職員間で意見を出し合い決めている。立案を立てて、職員に意見等を聞き、行っている。 | |
| | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 6 | 0 | 休日にイベントをしたり、子供が魅力に感じるものを準備している。毎月、行事や野外遊びなど企画している | |
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 | 6 | 0 | | |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 6 | 0 | 毎日、職員間でミーティングを行い、前日の振り返りやその日行われる内容や役割を確認し、連携した支援を行っている。 | |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 6 | 0 | 支援終了後、振り返りを行っている。送迎時の様子、保護者からの連絡等伝えている。 | |

| | | | | | | |
|--------------|----|--|---|---|--|--|
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 6 | 0 | | |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 6 | 0 | | |
| | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。 | 6 | 0 | 運動療育やイベント活動、行事の為の制作活動等様々な活動を組み合わせ、児童の自立を促した支援を行っている。 | |
| | 25 | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。 | 5 | 1 | 教室に慣れて、一日のスケジュールを理解し、児童が自ら宿題をしたり、運動遊びに参加したりできるように支援を行っている。活動内に小さな自己選択、自己決定ができる機会をたくさん作るようにし、経験して選べる自信を少しでもつけていくように行っている。 | 聴覚、視覚情報を使い、提案したり選択肢を増やしていきたい。行事は基本自由参加とし、気楽に参加できるように案内している。 |
| 関係機関や保護者との連携 | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 6 | 0 | 定期的に話し合いの場を持ち、支援員、保護者が参加している。 | |
| | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 6 | 0 | | |
| | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。 | 6 | 0 | | |
| | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | 5 | 1 | 就学前の情報を園や保護者から聞き取り、各事業所と情報共有に努める。 | |
| | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 | 5 | 1 | 地域交流を図り、関連事業所に見学し、必要な時は情報共有を行っている。 | |
| | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。 | 5 | 1 | 研修がある時は受けに行っている。 | |
| | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。 | 5 | 1 | 系列の子供クラブと交流の企画を立て実践している。 | |
| | 33 | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。 | 5 | 1 | 担当者が参加している。 | |
| | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | 6 | 0 | | |
| | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 5 | 1 | 家庭での様子、保護者の不安等を聞き取りながら、情報共有に努める。 | |
| 保護者への説明等 | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 6 | 0 | 契約時に担当者から説明を行っている | |
| | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 6 | 0 | 支援会議や送迎、面談において、保護者の意志や意見を重視して作成している。アセスメントにて本人、保護者からの目標記入があり、それらを踏まえた上で作成を行っている。 | |
| | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。 | 6 | 0 | | |
| | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 6 | 0 | | |
| | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。 | 4 | 2 | | 保護者会などの交流会の機会が少ないため、毎月のイベントへの参加などの呼びかけ、お誘いをしたらよいと思う。現時点では行っていない。今後行ってきたいと思う。 |
| | 41 | こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 6 | 0 | | |
| | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | 6 | 0 | | |
| | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 6 | 0 | | |
| | 44 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 6 | 0 | 児童の特性に合わせた支援内容で対応を行い、その都度配慮をしている。 | |

| | | | | | | |
|---------|----|--|---|---|--|--|
| | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | 3 | 3 | 近隣のごみ拾い等行い、少しずつでも地域との関わりを増やすことが必要だと思う。 今後行う予定で検討している。 | |
| 非常時等の対応 | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 6 | 0 | 担当者が管理し、マニュアルの見直しを定期的に行っている。 | |
| | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 6 | 0 | | |
| | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 | 6 | 0 | | |
| | 49 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 6 | 0 | 保護者や関係機関と情報共有をし、食事やおやつ、衛生面に留意するよう行う。 | |
| | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 6 | 0 | 安全管理の担当者が定期的な研修や訓練の予定を組み、実施している | |
| | 51 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 6 | 0 | お便りやHPにて周知している。 | |
| | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 6 | 0 | ヒヤリハットを作成し、職員全体が情報共有をし、再発防止に向けて、会議やミーティングを十分に話し合いを行っている。 その都度記載し、事業所内で共有している。 | |
| | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 6 | 0 | 研修、委員会は年間予定で管理している。 | |
| | 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | 6 | 0 | 基本、身体拘束は行っていない。行う場合は、保護者同意の上、何度も必要性を検証したうえで行う。 | |